

ケナコルト-A 皮内用関節腔内用水懸注 50mg/5mL

【この薬は？】

販売名	ケナコルト-A 皮内用関節腔内用水懸注 50mg/5mL KENACORT-A INTRADERMAL・INTRAARTICULAR Aqueous Suspension Injection 50mg/5mL
一般名	トリアムシノロンアセトニド Triamcinolone Acetonide
含有量 (1バイアル中)	50mg

患者向医薬品ガイドについて

患者向医薬品ガイドは、患者の皆様や家族の方などに、医療用医薬品の正しい理解と、重大な副作用の早期発見などに役立てていただくために作成したものです。

したがって、この医薬品を使用するときに特に知っていただきたいことを、医療関係者向けに作成されている添付文書を基に、わかりやすく記載しています。

医薬品の使用による重大な副作用と考えられる場合には、ただちに医師または薬剤師に相談してください。

ご不明な点などありましたら、末尾に記載の「お問い合わせ先」にお尋ねください。

さらに詳しい情報として、PMDA ホームページ「医薬品に関する情報」
<http://www.pmda.go.jp/safety/info-services/drugs/0001.html> に添付文書情報が掲載されています。

【この薬の効果は？】

- ・この薬は、合成副腎皮質ホルモン剤（ステロイド）と呼ばれるグループに属する薬です。
- ・この薬は、炎症やアレルギー症状を改善したり、免疫を抑制するなどさまざまな働きがあります。
- ・次の病気または次の目的で医療機関で使用されます。

(注) *：外用剤を用いても効果が不十分な場合あるいは十分な効果を期待し得ないと推定される場合にのみ用いること。

(関節腔内注射)

○関節リウマチ、若年性関節リウマチ（スチル病を含む）

○強直性脊椎炎（リウマチ性脊椎炎）に伴う四肢関節炎、変形性関節症（炎症

症状がはっきり認められる場合）、外傷後関節炎、非感染性慢性関節炎

（軟組織内注射）

- 関節周囲炎（非感染性のものに限る）、腱炎（非感染性のものに限る）、腱周囲炎（非感染性のものに限る）
- 耳鼻咽喉科領域の手術後の後療法
- 難治性口内炎及び舌炎（局所療法で治癒しないもの）

（腱鞘内注射）

- 関節周囲炎（非感染性のものに限る）、腱炎（非感染性のものに限る）、腱鞘炎（非感染性のものに限る）、腱周囲炎（非感染性のものに限る）

（滑液嚢内注入）

- 関節周囲炎（非感染性のものに限る）、腱周囲炎（非感染性のものに限る）、滑液包炎（非感染性のものに限る）

（局所皮内注射）

- *湿疹・皮膚炎群（急性湿疹、亜急性湿疹、慢性湿疹、接触皮膚炎、貨幣状湿疹、自家感作性皮膚炎、アトピー皮膚炎、乳・幼・小児湿疹、ビダール苔癬、その他の神経皮膚炎、脂漏性皮膚炎、進行性指掌角皮症、その他の手指の皮膚炎、陰部あるいは肛門湿疹、耳介及び外耳道の湿疹・皮膚炎、鼻前庭及び鼻翼周辺の湿疹・皮膚炎など）、（但し、重症例以外は極力投与しないこと。局注は浸潤、苔癬化の著しい場合のみとする）、*痒疹群（小児ストロフルス、蕁麻疹様苔癬、固定蕁麻疹を含む）（重症例に限る）、*乾癬及び類症〔尋常性乾癬（重症例）、関節症性乾癬、乾癬性紅皮症、膿疱性乾癬、稽留性肢端皮膚炎、疱疹状膿痂疹、ライター症候群〕のうち尋常性乾癬、*扁平苔癬（重症例に限る）、限局性強皮症、*円形脱毛症（悪性型に限る）、*早期ケロイド及びケロイド防止
- 耳鼻咽喉科領域の手術後の後療法

（ネブライザー）

- 気管支喘息
- びまん性間質性肺炎（肺線維症）（放射線肺臓炎を含む）
- アレルギー性鼻炎、花粉症（枯草熱）、副鼻腔炎・鼻茸、喉頭炎・喉頭浮腫、喉頭ポリープ・結節、食道の炎症（腐蝕性食道炎、直達鏡使用後）及び食道拡張術後、耳鼻咽喉科領域の手術後の後療法

(鼻腔内注入)

○アレルギー性鼻炎、花粉症（枯草熱）、副鼻腔炎・鼻茸、耳鼻咽喉科領域の手術後の後療法

(副鼻腔内注入)

○副鼻腔炎・鼻茸、耳鼻咽喉科領域の手術後の後療法

(鼻甲介内注射)

○アレルギー性鼻炎、花粉症（枯草熱）、耳鼻咽喉科領域の手術後の後療法

(鼻茸内注射)

○副鼻腔炎・鼻茸

(喉頭・気管注入)

○喉頭炎・喉頭浮腫、喉頭ポリープ・結節、耳鼻咽喉科領域の手術後の後療法

(中耳腔内注入)

○急性・慢性中耳炎、滲出性中耳炎・耳管狭窄症、耳鼻咽喉科領域の手術後の後療法

(耳管内注入)

○滲出性中耳炎・耳管狭窄症

(食道注入)

○食道の炎症（腐蝕性食道炎、直達鏡使用後）及び食道拡張術後、耳鼻咽喉科領域の手術後の後療法

【この薬を使う前に、確認すべきことは？】

○次の人または部位に、この薬を使用することはできません。

- ・過去にケナコルト-A筋注用関節腔内用水懸注に含まれる成分で過敏な反応を経験したことがある人
- ・感染症にかかっている関節腔内、滑液嚢内、腱鞘内または腱周囲
- ・動揺関節（関節が不安定な状態）のある人

○次の人は、原則として、この薬を使用することはできません。

- ・有効な抗菌剤のない感染症にかかっている人、全身の真菌症にかかっている人
- ・消化性潰瘍のある人
- ・精神病の人
- ・結核にかかっている人
- ・単純疱疹性角膜炎の人

- ・後のう白内障の人
- ・緑内障の人
- ・高血圧の人
- ・電解質異常のある人
- ・血栓症の人
- ・最近行った、内臓の手術の傷のある人
- ・急性心筋梗塞を起こした人

○次の人は、慎重に使う必要があります。使い始める前に医師または薬剤師に告げてください。

- ・感染症にかかっている人
- ・糖尿病の人
- ・骨粗しょう症の人
- ・腎不全の人
- ・甲状腺機能が低下している人
- ・肝硬変の人
- ・脂肪肝の人
- ・脂肪塞栓症の人
- ・重症筋無力症の人
- ・高齢の人

○この薬には併用を注意すべき薬があります。他の薬を使用している場合や、新たに使用する場合は、必ず医師または薬剤師に相談してください。

【この薬の使い方は？】

この薬は注射薬です。

●使用量および回数

〔医療機関で使用される場合〕

使用量、使用回数、使用方法などは、あなたの症状などにあわせて、医師が決め、医療機関において注射されます。

通常の使用量および回数は以下のとおりです。

使用方法	使用量および回数
関節腔内注射、軟組織内注射、 腱鞘内注射、滑液嚢内注入	1回 2～40mg を 2週間以上おきに使用
局所皮内注射	1回 0.2～1mg ずつ 10mg まで週 1回使用
ネブライザー	1回 2～10mg を 1日 1～3回
鼻腔内注入、副鼻腔内注入、喉頭・ 気管注入、中耳腔内注入、 耳管内注入	1回 2～10mg を 1日 1～3回
鼻甲介内注射、鼻茸内注射	1回 2～40mg
食道注入	1回 2mg

【この薬の使用中に気をつけなければならないことは？】

- ・この薬の使用で、誘発感染症、続発性副腎皮質機能不全、消化性潰瘍、糖尿病、精神障害などの重篤な副作用があらわれることがあるので、次のことに注意してください。

この薬を連用した後、急に使用を中止すると、発熱、頭痛、食欲不振、脱力感、筋肉痛、関節痛、ショックなどがあらわれることがあります。中止する場合は徐々に減量されます。医師の指示どおりに使用してください。

- ・この薬を使用している間、喘息発作が悪化することがあります。薬物、食物、添加物などに過敏な喘息の人は、特に注意してください。
- ・この薬を使用する前に水痘（みずぼうそう）または麻疹（はしか）にかかったことがあるか、予防接種を受けたことがあるか確認されます。また、水痘（みずぼうそう）または麻疹（はしか）に感染すると致命的な経過をたどることがありますので、感染が疑われる場合はただちに受診してください。
水痘または麻疹にかかったことがあったり、予防接種を受けたことがある人でも感染することがあるので、気をつけてください。
- ・B型肝炎ウイルスキャリアの人は、B型肝炎ウイルスの増殖による肝炎があらわれることがあります。そのため、この薬の使用後や使用終了後に継続して血液検査が行われます。発熱、倦怠感（けんたいかん）、皮膚や白目が黄色くなるなどの症状があらわれた場合には、速やかに医師に連絡してください。なお、服用開始前にHBs抗原陰性の人で、B型肝炎ウイルスによる肝炎を発症したとの報告があります。
- ・妊婦または妊娠している可能性がある人は医師に相談してください。
- ・授乳中の人は、授乳を避けてください。
- ・他の医師を受診する場合や、薬局などで他の薬を購入する場合は、必ずこの薬を飲んでいることを医師または薬剤師に伝えてください。

副作用は？

特にご注意いただきたい重大な副作用と、それぞれの主な自覚症状を記載しました。副作用であれば、それぞれの重大な副作用ごとに記載した主な自覚症状のうち、いくつかの症状が同じような時期にあらわれることが一般的です。このような場合には、ただちに医師または薬剤師に相談してください。

重大な副作用	主な自覚症状
誘発感染症、感染症の増悪 ゆうはつかんせんしょう、かんせんしょうのぞうあく	かぜのような症状、からだがだるい、発熱、嘔吐 〔B型肝炎ウイルスの増殖による肝炎としてあらわれる場合〕 吐き気、嘔吐、食欲不振、白目が黄色くなる、皮膚が黄色くなる

重大な副作用	主な自覚症状
続発性副腎皮質機能不全 ぞくはつせいふくじんひしつきのうふぜん	からだがだるい、力が入らない、吐き気、嘔吐、食欲不振、低血圧
糖尿病 とうにようびょう	からだがだるい、体重が減る、のどの渇き、水を多く飲む、尿の量が増える
消化性潰瘍 しょうかせいかいよう	胸やけ、胃のもたれ、背中痛み
膵炎 すいえん	吐き気、嘔吐、胃・おなかの激しい痛み、背中痛み
精神変調 せいしんへんちょう	からだがだるい、ぼんやりする、考えがまとまらない、気分が落ち込む、食欲不振、どうしたらよいかわからない、やる気がおきない、気分がふさぎ込む、上機嫌、情緒不安、眠りが浅い、夜中に目がさめる
うつ状態 うつじょうたい	やる気がおきない、気分がふさぎ込む、気分が落ち込む、不眠
痙攣 けいれん	けいれん
骨粗鬆症 こつそしょうしょう	腰・背中痛み、骨折しやすくなる、手足痛み
骨頭無菌性壊死 こつとうむきんせいえいし	関節痛み、股関節痛み、太もも前面痛み、膝の関節痛み、歩行障害
ミオパシー	筋肉痛み、筋肉のこわばり、筋力の低下
緑内障 りょくないしょう	頭痛、眼痛み、視力の低下、吐き気
後のう白内障 こうのうはくないしょう	眼のかすみ、光がまぶしく感じる、視力の低下
血栓症 けっせんしょう	血を吐く、吐き気、嘔吐、胸痛み、胸をしめつけられる感じ、胸を強く押さえた感じ、激しい腹痛、腹がはる、足の激しい痛み、出血、知覚のまひ
ショック	息切れ、冷や汗、めまい、血の気が引く、意識がうすれる、考えがまとまらない、判断力の低下
アナフィラキシー	からだがだるい、ふらつき、意識の低下、考えがまとまらない、ほてり、眼と口唇のまわりのはれ、しゃがれ声、息苦しい、息切れ、動悸、じんましん、判断力の低下
喘息発作の増悪 ぜんそくほっさのぞうあく	ヒューヒュー音がする、息をするときヒューヒューと音がする、息苦しい、息切れ
失明 しつめい	眼がみえなくなる
視力障害 しりょくしょうがい	ものの形が見えにくい、視力の低下、物が見えない、物が見えにくい
腱断裂 けんだんれつ	腱痛み、指が動かさない

以上の自覚症状を、副作用のあらわれる部位別に並び替えると次のとおりです。これらの症状に気づいたら、重大な副作用ごとの表をご覧ください。

部位	自覚症状
全身	かぜのような症状、からだのだるい、発熱、力が入らない、体重が減る、けいれん、骨折しやすくなる、筋肉の痛み、冷や汗、ふらつき
頭部	ぼんやりする、考えがまとまらない、頭痛、めまい、意識がうすれる、意識の低下
顔面	血の気が引く、ほてり
眼	白目が黄色くなる、眼の痛み、視力の低下、眼のかすみ、光がまぶしく感じる、眼と口唇のまわりのはれ、眼がみえなくなる、ものの形が見えにくい、物が見えない
口や喉	嘔吐、吐き気、のどの渴き、水を多く飲む、血を吐く、しゃがれ声、眼と口唇のまわりのはれ、ヒューヒュー音がする、息をするときヒューヒューと音がする
胸部	吐き気、胸やけ、胸の痛み、胸をしめつけられる感じ、胸を強く押さえつけた感じ、息切れ、息苦しい、動悸
腹部	食欲不振、吐き気、胃もたれ、胃・おなかの激しい痛み、激しい腹痛、腹がはる
背中	背中での痛み、腰・背中の痛み
手・足	手足の痛み、関節の痛み、股関節の痛み、太もも前面の痛み、膝の関節の痛み、歩行障害、足の激しい痛み、指が動かさない
皮膚	皮膚が黄色くなる、じんましん
筋肉	筋肉のこわばり、筋肉の痛み、筋力の低下
尿	尿の量が増える
その他	低血圧、どうしたらよいかわからない、やる気がおきない、気分がふさぎ込む、気分が落ち込む、上機嫌、情緒不安、眠りが浅い、夜中に目がさめる、不眠、出血、知覚のまひ、判断力の低下、腱の痛み

【この薬の形は？】

販売名	ケナコルト-A 皮内用関節腔内用水懸注 50mg/5mL
性状	白色の水性懸濁注射液
形状	

【この薬に含まれているのは？】

有効成分	トリアムシノロンアセトニド
添加物	ベンジルアルコール、ポリソルベート 80、カルメロースナトリウム、塩化ナトリウム、pH 調節剤

【この薬についてのお問い合わせ先は？】

- ・症状、使用方法、副作用などのより詳しい質問がある場合は、主治医や薬剤師にお尋ねください。
- ・一般的な事項に関する質問は下記へお問い合わせください。
製造販売会社：ブリストル・マイヤーズ スクイブ株式会社
(<http://www.bms.co.jp/>)
メディカル情報部
電話：0120-093-507
受付時間：9：00～17：30
(土、日、祝日並びに当社休日を除く)